連続講座「紫式部の平安京」第5回

道長の子・藤原頼通の邸第「高陽院」 ~平安京左京二条二坊調査成果から探る~

(公財)京都市埋蔵文化財研究所 西田 倫子

1、はじめに

藤原頼通が生きた時代は、最盛期であった藤原道長の時代から摂関政治は大きな変化の時代を迎えようとしていた。

諸国では武士を先頭とする農民たちの集団が各地で台頭し、国司がそれを抑えられなくなってきていた。 このことは、都の貴族が主導する政策の転換を余儀なくされ、武士を国司の下で新たに行政官に任命する ようになった。

天皇支配の陰りという、これまで考えも及ばなかった事態の発生は、宮廷社会を動揺させることとなり、末法 思想が広がる素地となったとも考えられている。

頼通は、政治体制の変革期において、長きにわたり政治の中心で活躍したばかりでなく、高陽院の造営に あたり、何度となく足を運び、 庭の立石などにもこだわりをみせるなどの一面もあったようである。

今回は、藤原頼通の邸宅「高陽院」を平安京左京二条二坊の発掘調査成果を中心に紐解いていく。

2、藤原頼通とその邸宅

(1)藤原頼通(図1・表1)

平安時代中期の公卿。号は、宇治殿、宇治関白。正暦3年(992)~延久6年(1074)。

父は摂政太政大臣、藤原道長、母は左大臣源雅信女、従一位源倫子。

長和六年(1017)に摂政となる。

後一条天皇・後朱雀天皇・後冷泉天皇の三朝、51年間にわたり摂政、関白を務める。

天喜元年(1053)に宇治平等院鳳凰堂を建立。

(2)藤原頼通(氏長者)の邸宅(図2)

道長から譲渡された邸宅…土御門殿(京極殿)、高倉殿、東三条殿、堀河院、宇治殿(後の平等院) 新造した邸宅…高陽院

3、高陽院

(1) 賀陽院(高陽院の前身)(図5・6)

高陽院の前身は、桓武天皇の皇子賀陽親王の邸宅。その名にちなんで賀陽院と記されることもあった。 調査2・4・7で9世紀及び10世紀の池跡等が見つかっている。

- (2) 文献にみる高陽院(図3)
 - ①邸宅規模:4町(平安京左京二条二坊九・十・十五・十六町跡)

方1町(約14400m²)が三位以上に班給される敷地規模の標準であった。

東三条殿・閑院・土御門殿(京極殿)でも2町、高陽院は4町の突出した規模。

当時、四・五位は2分の1町、六位以上は4分の1町以下と位により敷地の規模が異なる。

②文献にみる邸宅の変遷とその様子(太田静六『寝殿造の研究』から)

第1期 治安元年(1021)落成

長暦3年(1039)3月16日罹災

第2期 長久元年(1040)12月13日落成

天喜2年(1054)正月8日罹災

第3期 康平3年(1060)8月11日落成

承暦4年(1080)2月6日罹災

『栄華物語』巻二十三「駒競行幸」

「この世には冷泉院、京極殿などをぞ、人おもしろき所と思いたるにこの高陽院の有様、この世のことと見えず、海竜王の家などこそ、四季は四方に見ゆれ、この殿はそれにも劣らずさまなり、例の人家造りなどにも違ひたり、寝殿の北南西東などには皆池あり、中島に釣殿たてさせ給へり、」万寿元年(1024)高陽院で催された駒競の様子は、『小右記』にも記され、鎌倉時代には『駒競行幸絵巻』として描かれた(図4)。

(3) 平安京左京二条二坊九・十・十五・十六町跡の調査(図5~10)

九町跡

調查1 池A(洲浜·景石)、柱穴列

調査2 9・10世紀の池。

調査3 10・11世紀の池、11世紀の礎石建物。

十町跡

調査4 池Aに伴う排水路。立会のため、詳細不明。弥生時代の流路。

調査5 池A(洲浜を持たない)の西端。弥生時代の流路。

調査6 池A(洲浜)。縄文晩期~弥生時代の流路。

調査7 池A。

十五町跡

調査8 池A(中島・景石)。地業と建物遺構。

調查9 池A(洲浜)。

調査10 池A。

十六町跡

調査11 池Aとは池底レベルが最大80cm異なる池B。

(4)調査で見つかった11世紀の建物遺構と庭園遺構(図11)

4、まとめ

- (1) 高陽院と平安時代中期の寝殿造(図11~14)
- (2)平等院と高陽院(図15・16)

太田静六「宇治関白藤原頼通の邸宅高陽院:鳳凰堂との関連」『日本建築学会論文報告集』第307号

一般社団法人日本建築学会 1981

森 蘊『「作庭記」の世界 平安朝の庭園美』日本放送出版会 1986

太田静六『寝殿造の研究』吉川弘文館 1987

仲 隆裕『京都市文化財ブックス第5集 京都の庭園-遺跡にみる平安時代の庭園-』京都市文化観光局文化部 文化財保護課 1990

坂本賞三『藤原頼通の時代 摂関政治から院政へ』平凡社 1991

角田文衞監修『平安時代史事典』角川書店 1994

網伸也「発掘調査から見た頼通伝領前の高陽院」『研究紀要』第5号(財)京都市埋蔵文化財研究所 1998 朧谷寿『平安貴族と邸第』吉川弘文館 2000

藤田勝也·古賀秀策編『日本建築史』昭和堂 2002

宇治市歴史資料館『史跡及び名勝平等院庭園保存整備報告書』宗教法人平等院 2003

南孝雄「平安京に暮らせば 貴族の住まい」『源氏物語の雅び 平安京と王朝びと』京都新聞出版センター 2008 美川圭・佐古愛己・辻浩和『京都の中世史1 摂関政治から院政へ』吉川弘文館 2021

樋口健太郎『摂関家の中世 藤原道長から豊臣秀吉まで』吉川弘文館 2021

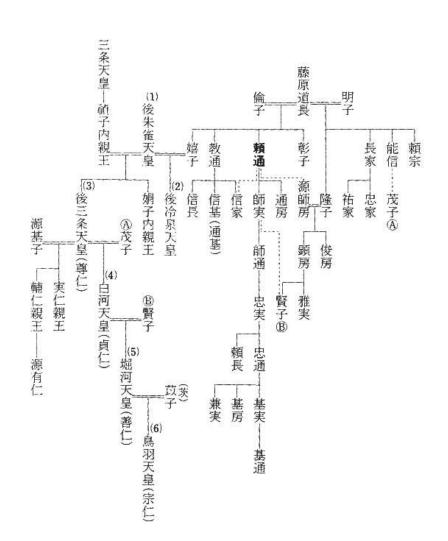
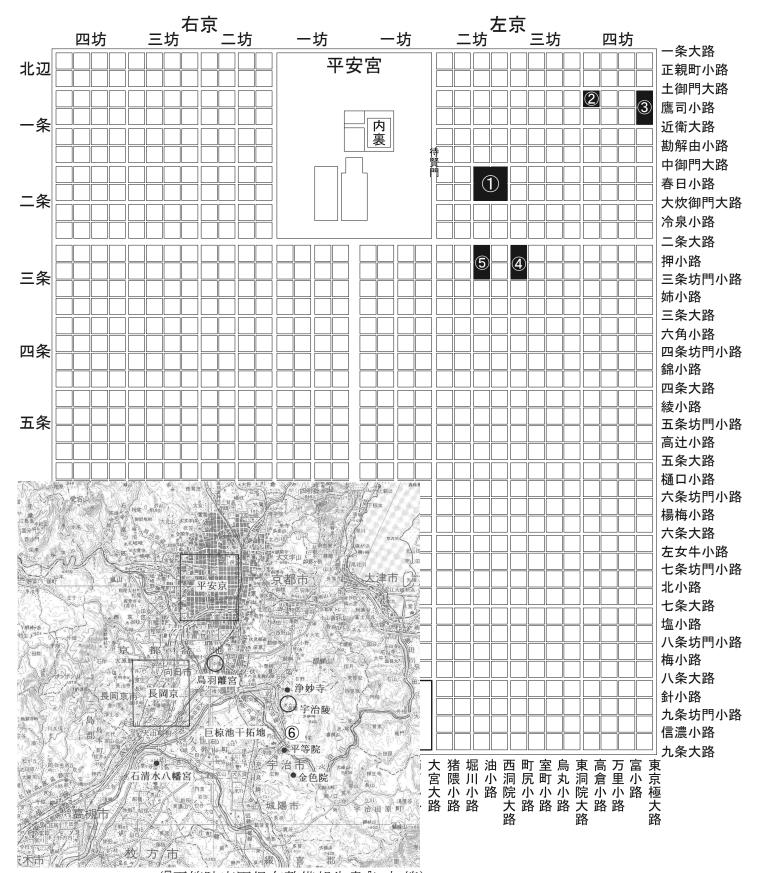


図1 頼通関係図(『藤原頼通の時代』)

No.	氏名	在任期	期間
1	藤原良房	天安二(云)八・二七~貞観一四	四(全三)九・二
2	藤原基経	貞観一八 (公左)・一一・二九~寛平二 (公四)	十二 (公益) 一二・一四
3	藤原忠平	延長八(空〇)九・二二~天暦三(5晃)八・	ਈ)八・一四
4	藤原実頼	康保四(丸芒)六・二二~天禄元(丸七)	0) 五·一八
5	藤原伊尹	天禄元(売り)五・二〇~天禄三(売三)) 10.11111
6	藤原兼通	天延二(弘區)三・二六~貞元二(弘宅)	(九七) 一〇・一一
7	藤原頼忠	貞元二(丸七)一〇・一一~寛和二(九	(九六)六・二三
8	藤原兼家	寛和二(九六)六・二三~永祚二(九〇)	(20) 五・八
9	藤原道隆	永祚二(光0)五・八~長徳元(光五)	四・三
10	藤原道兼	長徳元(尭笠)四・二七~同五・八	
11	藤原道長	長和五(10ik) ・二九〜長和六・三・	一六
12	藤原頼通	長和六 (101七) 三・一六〜治暦三 (10六七)	全) 一二・五
13	藤原教通	治暦四(二〇六七)四・一七~承保二(二	(10差) 九・二五

表1 摂関政治期の摂関 (『摂関家の中世』)

-3-



(『平等院庭園保存整備報告書』に加筆)

- ① 高陽院
- ⑥ 宇治殿(後の平等院)
- ② 高倉殿
- ③ 土御門殿(京極殿)
- ④ 東三条殿
- ⑤ 堀河院

図2 頼通邸宅配置図

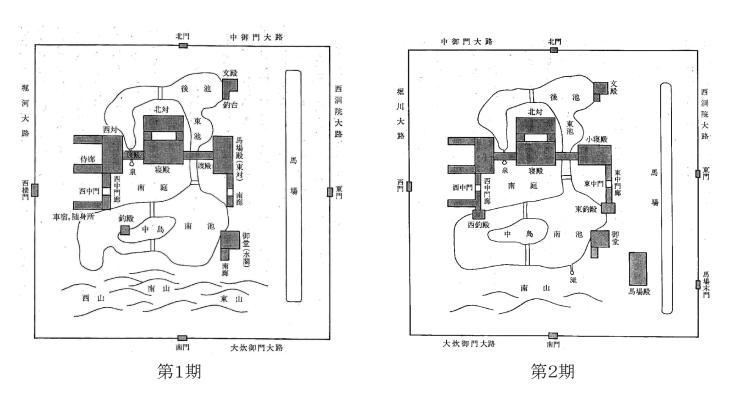


図3 高陽院復原図(『寝殿造の研究』)

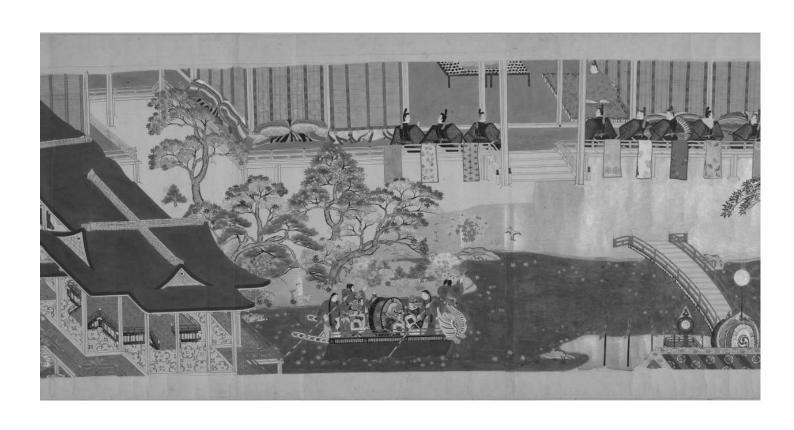


図4 駒競行幸絵巻(模本)(狩野晴川院養信(東京国立博物館所蔵)ColBase)



≪報告文献≫

1. 左京二条二坊九町跡

『平安京跡発掘調査概報 昭和56年度』 京都市文化観光局 1982

2. 左京二条二坊九町跡 『昭和63年度 京都市埋蔵文化財調査概要』

財団法人京都市埋蔵文化財研究所 1993

3. 左京二条二坊九町跡 『平成9年度 京都市埋蔵文化財調査概要』

財団法人京都市埋蔵文化財研究所 1999

4. 左京二条二坊十町跡 『京都市内遺跡試掘・立会調査 昭和56年度』

京都市文化観光局 1982

5. 左京二条二坊十町跡 6. 左京二条二坊十町跡

『平安京跡発掘調査概要 平成元年度』京都市文化観光局 1990 『平安京左京二条二坊十町(高陽院)跡 京都市埋蔵文化財研究所

発掘調査概報2005-7』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 2005

7. 左京二条二坊十町跡 『平安京左京二条二坊十町跡・高陽院跡・二条城北遺跡

アルケス発掘調査報告3』合同会社アルケス 2020

8. 左京二条二坊十五町跡『平成元年 京都市埋蔵文化財調査概要』

財団法人京都市埋蔵文化財研究所 1994

9. 左京二条二坊十五町跡『京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成23年度』

京都市文化市民局 2012

10. 左京二条二坊十五町跡『平安京左京二条二坊十・十五町(高陽院)跡発掘調査報告』

株式会社文化財サービス 2019

11. 左京二条二坊十六町跡『平安京跡発掘調査概要 昭和63年度』京都市文化観光局 1989



調査7

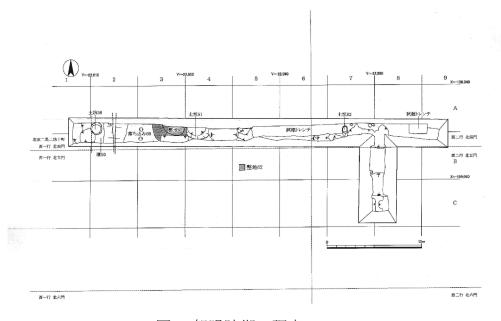


図6 賀陽院期の調査

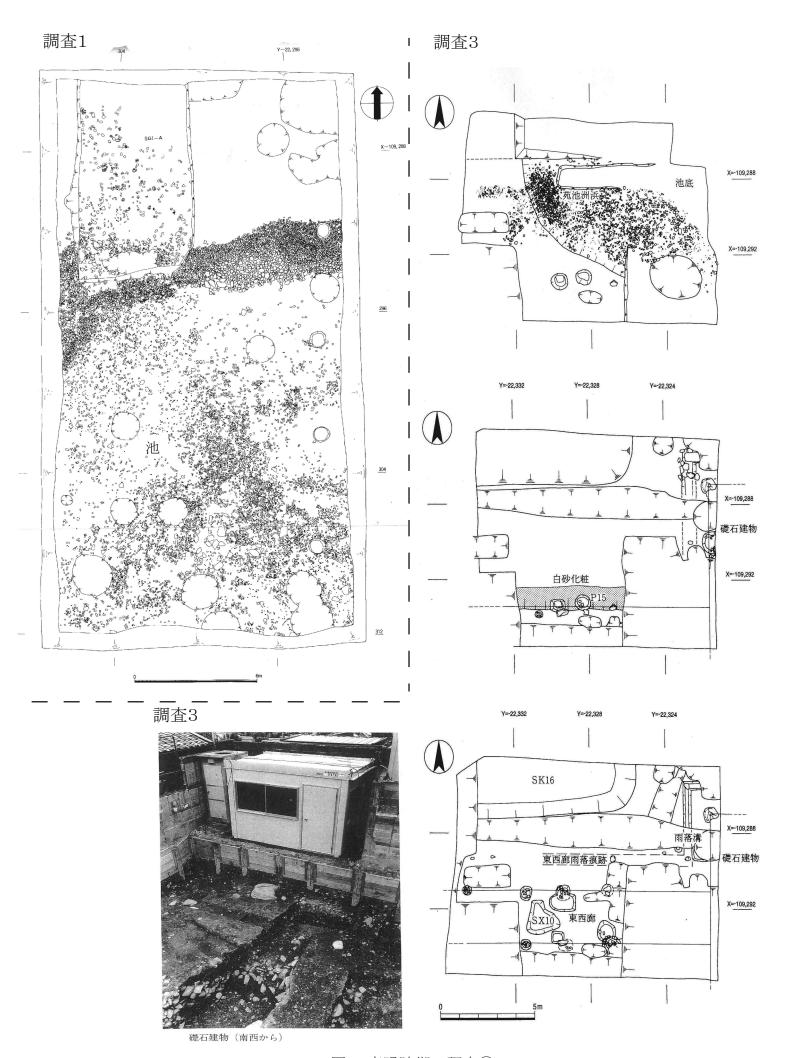
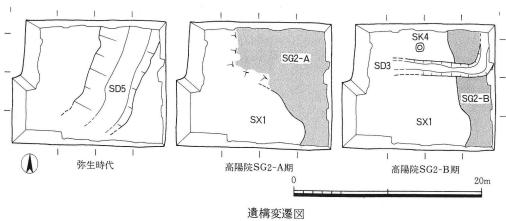
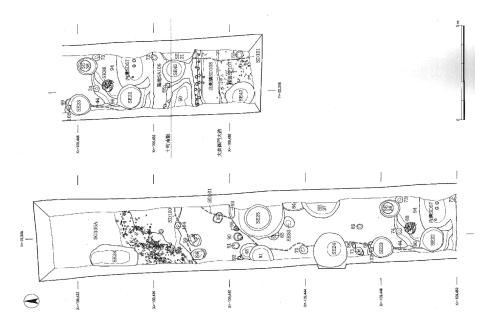


図7 高陽院期の調査①

調査5



調査6



調査7

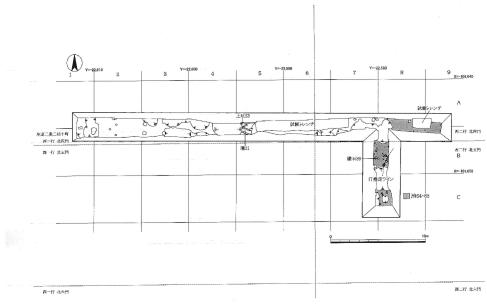


図8 高陽院期の調査②

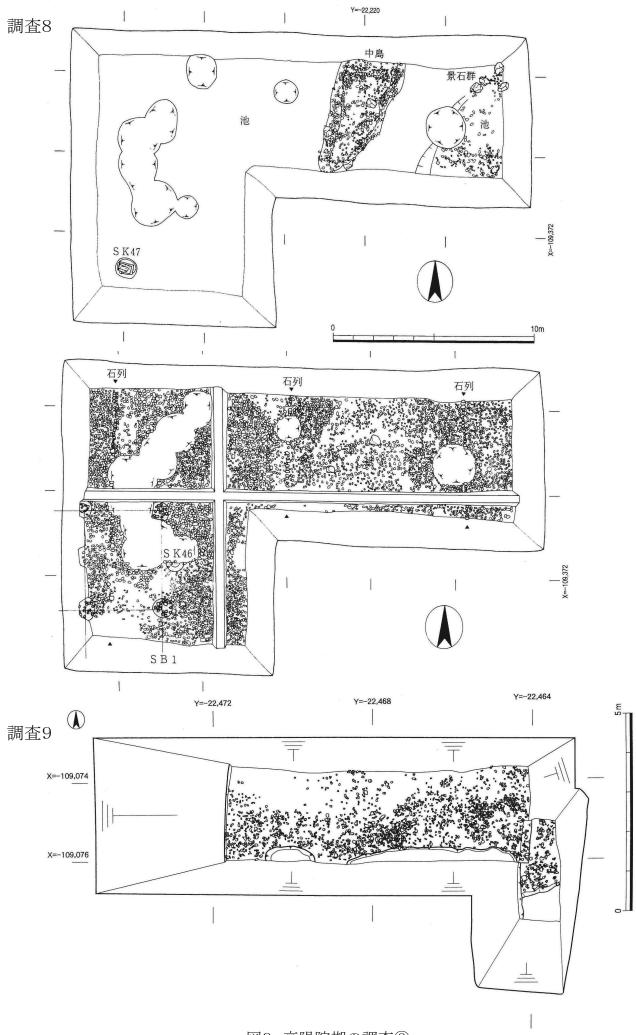


図9 高陽院期の調査③

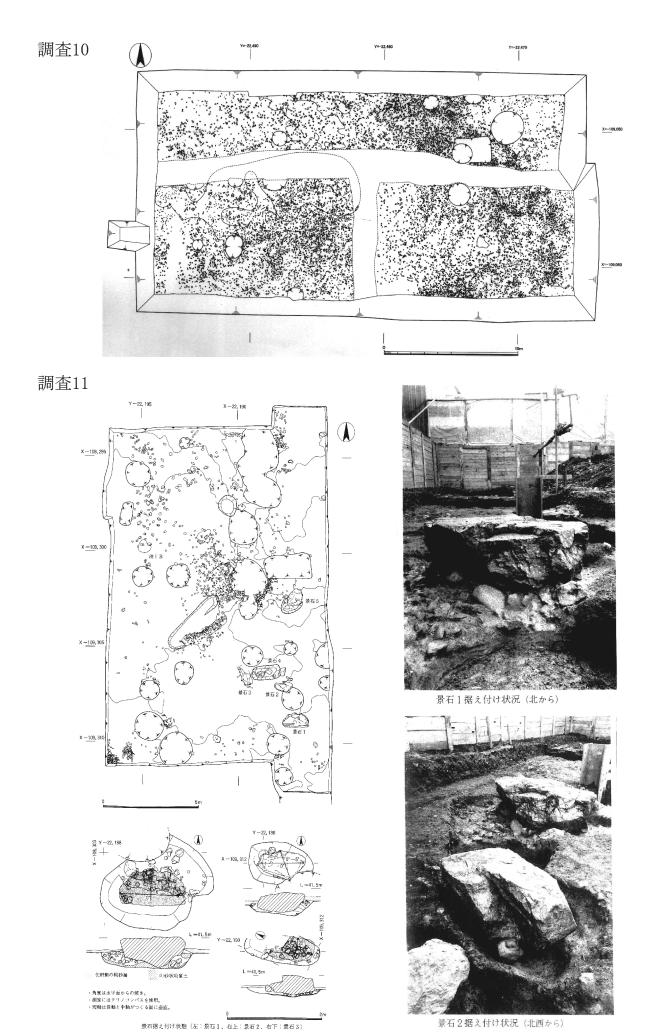


図10 高陽院期の調査④



図11 11世紀の高陽院宅地配置図 (『京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成23年度』に加筆)

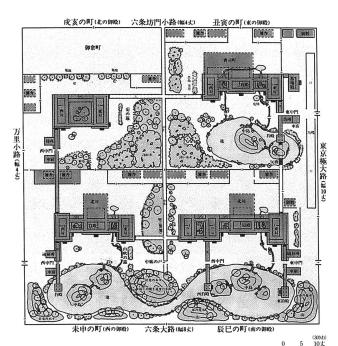


図12 『源氏物語』六条院想定平面図 (『源氏物語の雅 平安京と王朝びと』)

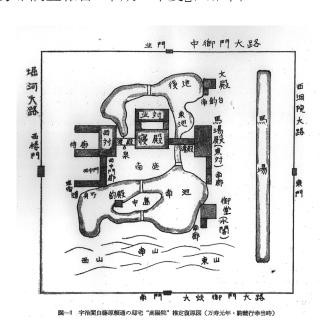


図13 高陽院復原図(万寿元年・駒競行幸当時) (「宇治関白藤原頼通の邸宅高陽院

鳳凰堂との関連」)



図14 東三条院復元模型(京都府京都文化博物館蔵)

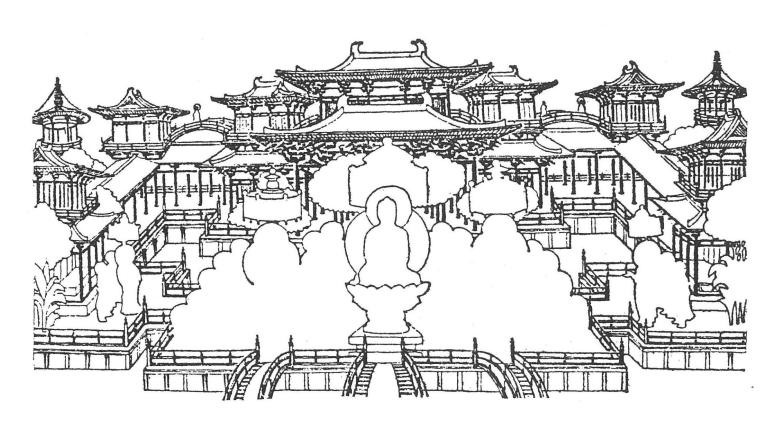


図15 敦煌第148窟壁画中の宝楼閣(『寝殿造の研究』)

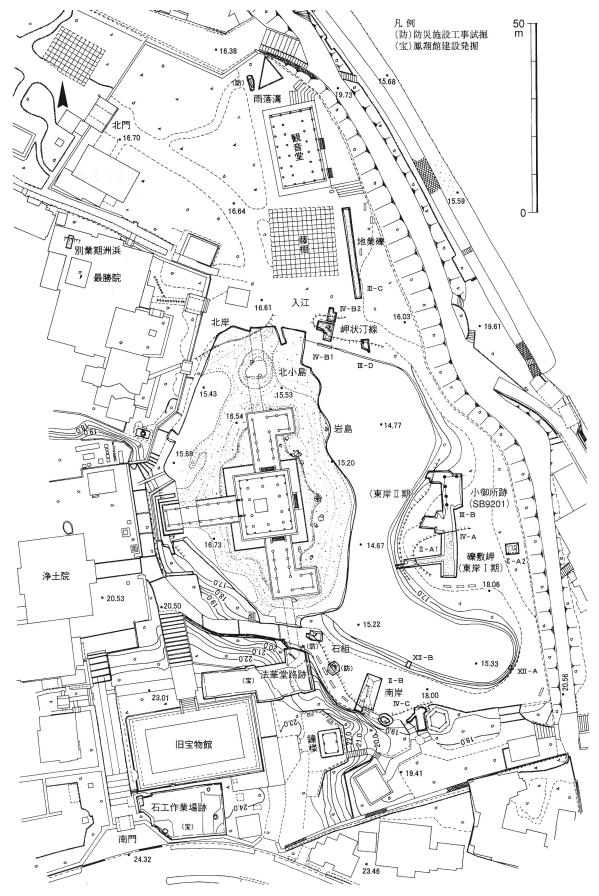


Fig. 53 平等院境内発見の平安遺構概要図 (平成2年測量図使用)

図16 平等院の発掘調査(『平等院庭園保存整備報告書』)